



設置場所の準備およびメンテナンス記録

この付録では、設置場所の一覧が提供され、Cisco MDS 9250i スイッチの設置時に使用する次の記録が含まれます。

- 「カスタマーサービスへのお問い合わせ」(P.D-1)
- 「設置環境チェックリスト」(P.D-2)
- 「担当者および設置場所の情報」(P.D-4)
- 「シャーシおよびモジュールの情報」(P.D-5)



(注) 構成情報を得るためにスイッチをクエリする方法については、『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Fundamentals Configuration Guide』または『Cisco Fundamentals Configuration Guide for DCNM SAN』を参照してください。

カスタマーサービスへのお問い合わせ

この付録で説明されているトラブルシューティングの手順を行っても起動に関する問題を解決できない場合は、代理店に連絡して、サポートや詳細な手順の説明を依頼してください。担当者ができる限りすばやいサポートを行えるように、連絡する前に次の情報を用意してください。

- スイッチの受領日。
- シャーシのシリアル番号を指定します。「シャーシシリアル番号の記載場所」(P.D-2)を参照してください。
- ソフトウェアの種類とリリース番号。
- 保守契約または保証の内容。
- 問題点の要約
- 問題を特定し、解決するためにすでに実施した手順の簡単な説明。



(注) シスコのサポートをシスコのリセラーからご購入された場合は、リセラーに直接お問い合わせください。サポートをシスコから直接ご購入された場合は、次の URL にある Technical Assistance Center (TAC) にご連絡ください。
http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html

シャーシシリアル番号の記載場所



ヒント CLIにアクセスできる場合、スイッチのシリアル番号を含むバックプレーンの内容を表示するには、**show sprom backplane 1** コマンドを入力します。

設置環境チェックリスト

スイッチを正常に稼働させ、適切な通気を保持し、作業を容易にするには、装置ラックまたはワイヤリングクローゼットの設置環境を整え、配置を決めることが重要です。表 D-1 に、Cisco MDS 9700 スwitchの設置前に完了しておくことが推奨される設置場所の準備作業を示します。

設置場所に必要な空調要件を決定するときには、熱放散を考慮してください。環境要件については、[Table B-1 on page B-1](#) を参照してください。電力および発熱量の定格値については、“[Power Specifications for the Cisco MDS 9250i Switch](#)” section on page B-2 および “[Power Specifications for the Cisco MDS 9250i Switch](#)” section on page B-2 を参照してください。

表 D-1 設置環境のチェックリスト

作業番号	準備作業	確認者	時刻	日付
1	設置場所の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 広さおよびレイアウト • 床の表面仕上げ • 衝撃および振動 • 照明 • メンテナンス作業の容易さ 			
2	環境の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 周囲温度 • 湿度 • 高度 • 空気の汚染 • エアフロー 			

表 D-1 設置環境のチェックリスト (続き)

作業番号	準備作業	確認者	時刻	日付
3	電源の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 入力電源のタイプ • 電源コンセント (20 A)¹ • 電源コンセントと機器の距離 • 冗長電源モジュール用の専用 (個別) 回路 • 電源障害時用の UPS² • DC システム : 適切なゲージの導線と圧着端子 			
4	アースの確認 <ul style="list-style-type: none"> • 回路ブレーカーの容量 • CO アース (AC および DC 電源システム) 			
5	ケーブルおよびインターフェイス機器の確認 <ul style="list-style-type: none"> • ケーブルタイプ • コネクタタイプ • ケーブルの距離制限 • インターフェイス機器 (トランシーバ) 			
6	EMI ³ の確認 <ul style="list-style-type: none"> • 信号の距離制限 • 設置場所の配線 • RFI⁴ レベル 			

1. シャーシに搭載されている各電源装置用に、専用の AC 電源または DC 電源の回路があることを確認してください。
2. UPS = Uninterruptible Power Supply (無停電電源装置)
3. EMI = Electromagnetic Interference (電磁波干渉)
4. RFI = Radio Frequency Interference (無線周波数干渉)

担当者および設置場所の情報

次のワークシート（表 D-2）に、担当者および設置場所の情報を記録してください。

表 D-2 担当者および設置場所の情報

担当者	
担当者の電話番号	
連絡先 E メール	
建物および設置場所の名称	
データセンターの位置	
設置フロアの位置	
住所（1）	
住所（2）	
市町村	
状態	
郵便番号	
Country	

シャーシおよびモジュールの情報

次のワークシート（表 D-3 および表 D-4）に、シャーシおよびモジュールの情報を記録してください。

契約番号 _____

シャーシのシリアル番号 _____

製品番号 _____

表 D-3 ネットワーク関連情報

スイッチの IP アドレス	
スイッチの IP ネットマスク	
ホスト名	
ドメイン名	
IP ブロードキャストアドレス	
ゲートウェイおよびルータのアドレス	
DNS アドレス	
モデムの電話番号	

表 D-4 モジュールの情報

スロット	Module Type	モジュールのシリアル番号	注意
1			
2			
3			
4			
5	スーパーバイザ (Supervisor)		

表 D-4 モジュールの情報 (続き)

スロット	Module Type	モジュールのシリアル番号	注意
6	スーパーバイザ (Supervisor)		
7			
8			
9			